

## 平成29年度 事業計画

### 1 家畜の登録、登記、検定及び会員数

家畜改良増殖法により承認された各種畜の登録規程に基づき、次のとおり登録、登記、検定等を行う。

登 録 登 記 検 定 頭 数 及 び 会 員 数				
種 畜	登録登記の種類	平成29年度計画 頭数及び員数	平成28年度計画 頭数及び員数	増 △ 減
乳 牛	血 統 登 録	200	210	△ 10
	移 動 証 明	110	115	△ 5
和 牛	高 等 登 録	80	108	△ 28
	本 原 登 録	1,200	1,280	△ 80
	基 本 登 録	2,700	2,830	△ 130
	子 牛 登 記	31,000	30,500	500
	血 統 証 明	200	190	10
種 豚	産肉検定証明	3	3	0
	産 子 検 定	40	50	△ 10
	種 豚 登 録	200	320	△ 120
	子 豚 登 記	350	600	△ 250
山 羊	産 子 登 録	15	15	0
合 計		36,098	36,221	△ 123
会 員	乳 牛 会 員	35	35	0
	和 牛 会 員	2,850	2,900	△ 50
	種 豚 会 員	15	15	0
	種馬山羊会員	130	130	0
	団体賛助会員	2	2	0
計		3,032	3,082	△ 50

## 2. 家畜改良振興事業

### 1) 肉用牛の家畜審査講習会

畜産共進会の審査技術の向上及び地方審査委員の取得を目的として、家畜審査講習会を年2回開催します。

平成29年7月下旬・・・体型測定や和牛の見方の基本講習会

平成30年2月上旬・・・地方審査委員を取得目的とした講習会

2) 沖縄県主催の家畜人工授精師(牛)養成講習会における家畜審査の科目の講義等を担当し、生産現場における家畜審査に関わる人材育成を行います。開催については県主催なので未定ですが例年8月上旬頃だと思われま

3) 沖縄県農業大学校における家畜育種講座の中で、家畜の改良の講義を担当し、農林高校では家畜審査講習会の審査委員を担当し、後継者育成を支援します。開催については、農業大学校及び農林高校主催なので未定ですが例年5月と7月頃に行っております。

4) 和牛改良組合、市町村、南部・中部・北部の各地区、県共進会への審査委員を派遣し、農家指導を行います。

5) 県内の乳用牛の生産性向上のためホルスタイン登録協会と連携し、体型データの収集と評価を行い、乳用牛の改良を促進させるような指導を行います。

平成29年 6月・・・第1回体型調査

平成29年12月・・・第2回体型調査

6) 種豚対策として、能力の高い指定種豚場の種豚を一般農家へ普及させるようなシステムを構築し、アグー種豚を絡ませた新たなブランド豚作出するために指導を行います。

7) 山羊対策として「出生確認」山羊を増頭させ、現場のニーズにあった大型山羊への改良指導を行います。

8) タブレットを用いて農家にて、交配シミュレーションや分娩間隔、後継牛の対策等の指導を行います。

9) 新事務所の新たな機能を活かして講習会を定期的で開催するとともに、農家カルテに基づく個別指導を行う。また、農家の要望に応えられるよう関係機関との連携を強化する。

10) 大学と連携して、沖縄の和牛繁殖雌牛の特徴を分析させ農家指導に役立てていきます。

## 3. 肉用牛振興推進事業

離島地域において、現状における繁殖能力及び産肉性等について調査分析し、繁殖雌牛の体型比較検討会及び研修会を行いながら、今後の地域の改良の方向性や個々の農家の育種価や分娩間隔の改善点などの指導を行います。

平成29年12月・・・与那国町繁殖雌牛検討会

平成30年 1月・・・竹富町黒島繁殖雌牛検討会

## 4. 繁殖雌牛改良促進事業

母集団のレベル向上を図るとともに、沖縄県の特徴のある種雄牛造成に寄与するためITを活用した農家個々の情報をいち早く提供するように取り組む。

県内各改良組合において、地域の特徴を伸ばすことや、地域の問題点を課題として取り上げるとともに、飼養管理技術の向上を図るための研修会を下記地区で実施します。

○石垣地区, 宮古地区, 伊江地区, 南部地区, 中部地区, 北部地区 ・ ・ 10月開催予定

#### 5. 優良肉用牛生産推進事業

県内優良肉用牛生産基盤及び肉質向上推進のため県内生産農家に脂肪交雑の上位1,000番以内の母牛に優良種雄牛の交配シミュレーションを行い通知して計画交配を推進させ、また、期待の期待、期待育種価及び分娩間隔等を送付して能力の高い後継牛保留対策を促進させるため農家指導を行います。

#### 6. 全国和牛能力共進会出品対策事業

第11回全国和牛能力共進会に向けて各和牛改良組合と連携して、全共出品牛の進捗状況を把握しながら4月に第1次審査を行い、7月に全国和牛登録協会審査委員を招聘して最終審査を実施し、沖縄県代表牛を選抜する。また、畜産研究センターと連携して肥育農家を巡回し、DGや肉質スキャンなどを活用して指導を行って、種牛と同様に7月に最終選抜で代表牛を決定します。平成29年9月に開催される宮城全共に向けて全力で挑みます。

#### 7. 家畜人工授精用精液取扱事業

沖縄県畜産研究センター及び一般社団法人家畜改良事業団熊本種雄牛センターから家畜人工授精用精液を県内で開設している家畜人工授精センターや人工授精師へ供給して、農家の需要に応えるとともに、県及び家畜改良事業団の新規種雄牛の情報や交配指導等を行います。

# 平成29年度収支予算書内訳表

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
<b>特定資産運用益</b>	1,190,000	10,000	1,200,000
特定資産引当受取利息	1,190,000	10,000	1,200,000
<b>受取会費</b>	816,600	7,349,400	8,166,000
和牛受取会費	769,500	6,925,500	7,695,000
乳牛受取会費	4,900	44,100	49,000
種豚受取会費	4,100	36,900	41,000
山羊受取会費	35,100	315,900	351,000
賛助会員	3,000	27,000	30,000
<b>登録事業収益</b>	108,098,000	0	108,098,000
和牛登録手数料	94,822,000	0	94,822,000
和牛原産地証明料	4,168,000	0	4,168,000
乳牛登録手数料	506,000	0	506,000
乳牛原産地証明料	131,000	0	131,000
種豚登録手数料	1,977,000	0	1,977,000
種豚原産地証明料	1,075,000	0	1,075,000
山羊登録手数料	11,000	0	11,000
山羊原産地証明料	408,000	0	408,000
家畜人工授精用精液等売上	1,500,000	0	1,500,000
奨励金収入	3,500,000	0	3,500,000
<b>事業関係収入</b>	11,500,000	0	11,500,000
繁殖雌牛改良促進事業	4,500,000	0	4,500,000
優良肉用牛生産推進事業	2,400,000	0	2,400,000
肉用牛振興推進指導事業(全国肉用牛)	1,600,000	0	1,600,000
中央団体助成事業	3,000,000	0	3,000,000
全共出品対策負担金収入	0	0	0
<b>受取負担金収入</b>	18,600,000	0	18,600,000
受取負担金収入	18,600,000	0	18,600,000
<b>雑収益</b>	60,000	0	60,000
雑収入	40,000	0	40,000
受取利息	20,000	0	20,000
<b>経常収益計</b>	140,264,600	7,359,400	147,624,000
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	140,339,000		140,339,000
役員報酬	4,000,000		4,000,000
給与手当	47,000,000		47,000,000
臨時雇賃金	13,000,000		13,000,000
賞与支出	11,300,000		11,300,000
賞与引当金繰入額	1,000		1,000
退職給付費用	1,000		1,000
法定福利厚生費	13,000,000		13,000,000
旅費	6,000,000		6,000,000
車両費	2,200,000		2,200,000
登録需用費	6,000,000		6,000,000
営繕費	400,000		400,000
賃借料	1,300,000		1,300,000
租税公課	10,290,000		10,290,000
通信運搬費	2,100,000		2,100,000
消耗品費	1,200,000		1,200,000
光熱水料費	1,000,000		1,000,000
負担金	8,000,000		8,000,000
什器備品費	91,000		91,000
減価償却費	10,192,000		10,192,000
報償費	3,000,000		3,000,000
会議費	141,000		141,000
褒賞費	123,000		123,000

# 平成29年度収支予算書内訳表

(平成29年4月1日から平成30年3月31日)

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
<b>管理費</b>		14,785,000	14,785,000
役員報酬		1,500,000	1,500,000
職員給与手当		1,500,000	1,500,000
賞与支出		300,000	300,000
賞与引当金繰入額		1,000	1,000
法定福利厚生費		280,000	280,000
福利厚生費		150,000	150,000
消耗品費		3,100,000	3,100,000
通信運搬費		60,000	60,000
雑役務費		60,000	60,000
旅費交通費		400,000	400,000
図書印刷費		1,700,000	1,700,000
営繕費		150,000	150,000
光熱水料費		50,000	50,000
賃借料		40,000	40,000
交際費		120,000	120,000
諸謝金		700,000	700,000
什器備品費		819,000	819,000
租税公課		210,000	210,000
減価償却費		208,000	208,000
雑費		1,550,000	1,550,000
支払利息		30,000	30,000
総会開催費		307,000	307,000
役員会費		1,500,000	1,500,000
諸会議費		50,000	50,000
<b>経常費用計</b>	140,339,000	14,785,000	155,124,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 74,400	△ 7,425,600	△ 7,500,000
特定資産為替益	1,000	0	1,000
特定資産評価益	1,000	0	1,000
固定資産売却益	1,000	0	1,000
引当金戻入益	1,000	0	1,000
評価益等計	4,000	0	4,000
特定資産為替損	1,000	0	1,000
特定資産評価損	1,000	0	1,000
固定資産売却損	1,000	0	1,000
引当金戻入損	1,000	0	1,000
評価損等計	4,000	0	4,000
当期経常増減額	△ 74,400	△ 7,425,600	△ 7,500,000
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産減損損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計からの繰入額	0	0	0
他会計からの繰出額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 74,400	△ 7,425,600	△ 7,500,000
一般正味財産期首残高	195,381,462	△ 5,914,100	189,467,362
一般正味財産期末残高	195,307,062	△ 13,339,700	181,967,362
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
<b>III 正味財産期末残高</b>	195,307,062	△ 13,339,700	181,967,362

(注) 短期借入金限度額 10,000,000円  
 長期借入金限度額 30,000,000円